



未来サミット 2024：それは何をもたらすのか

目的

私たちが生き残るために、効果的なグローバル協力の重要性が増しています。しかし、不信感が蔓延する環境のなか、今日の政治と経済の現実を反映していない時代遅れの仕組みに頼ったままでは、効果的なグローバル協力の実現は困難です。「未来サミット (Summit of the Future)」は、再び正しい軌道に戻るチャンスです。サミットでは、すでに合意されている目標を達成すると同時に新たな脅威や機会に取り組むために、どのように協力すべきなのかを検討します。その成果は、政府間で合意される「未来のための協定」にまとめられます。サミットは、幅広いステークホルダーが自らの取り組みと約束を提示する機会です。「未来サミット」は、効果的なグローバル・ガバナンスに必要な仕組みと信頼を再び活性化することができるのです。

背景

2020 年の国連創設 75 周年にあたり、加盟国はグローバル・ガバナンスの強化を誓い、国連事務総長に対して現在および未来の課題に対処するための提言を求めました（決議 [75/1](#)）。これに対して事務総長は、既存のコミットメントの履行を加速させ、グローバル・ガバナンス内の穴を埋めるために、人々、国同士、世代間の連帯と、それに対応する多国間システムの刷新を呼びかけ、報告書『私たちの共通の課題 (Our Common Agenda)』([A/75/982](#)) をまとめました。また、事務総長はこれらの措置を実行する上での一世代に一度の機会として、「未来サミット」を報告書の中で提案しました。

2024 年 9 月にニューヨークで開催される「未来サミット」は、政府間で協議された、行動志向の「未来のための協定」を成果として採択します。この文書は、「持続可能な開発と開発のための資金調達」「国際の平和と安全」「科学・技術・イノベーション (STI)、そしてデジタル協力」「若者および将来世代」「グローバル・ガバナンスの変革」の章から成ります。また、グローバル・デジタル・コンパクトおよび将来世代に関する宣言（決議 [76/307](#)）もまとめることになっています。交渉はそれぞれ、ナミビアとドイツ（「未来のための協定」）、ザンビアとスウェーデン（グローバル・デジタル・コンパクト）、ジャマイカとオランダ（将来世代に関する宣言）が共同進行役として主導しています。

<https://www.un.org/en/summit-of-the-future>

加盟国を支援するため、事務総長は『私たちの共通の課題』で当初提示したアイデアを深化させる 11 の政策概要を発表しました。政策概要の提案の多くは、成果文書ととり

まとめる交渉の中で検討されています。

<https://www.un.org/en/common-agenda/policy-briefs>



SDGs を加速させる

未来サミットは、2023 年の「SDG サミット」を足掛かりに開催されます。多くの提案は、グローバル協力の「目標」の実現を目指すためのグローバル協力の「手段」を改善するものであり、「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」を一気に加速させます。その手段とは、(a) SDGs を再び軌道に乗せ、(b) 新たな機会とリスクに対応すること、にあります。

インパクトをもたらす「未来のための協定」

現在協議中の協定の草案は、今日の現実を反映し、あらゆる場所のあらゆる人々に資する多国間システムを促進する可能性を持っています。以下はそのための手段の一部ですが、草案において主要な提言を盛り込む上で、協定のすべての章において、**人権、ジェンダー、持続可能な開発**に強く留意しなくてはなりません。

持続可能な開発と開発のための資金調達

2030 アジェンダを完全かつ期限内に実施し、2023 年の「SDG サミット政治宣言」を実施する。そのために、**誰一人取り残さない**という目標の下、緊急の拡大した行動、政策、そして人々とその社会経済的発展への投資を行う。

SDGs のための資金調達に大幅な変革をもたらす。そのために、「SDG 刺激策」、政府開発援助 (ODA) や民間セクターの投資の実現、包括的な租税協力などを行い、2025 年に開催される「開発資金会議」でのより具体的な決定につなげる。

気候と環境に関する取り組みを加速させる。具体的には、気候変動の緩和と適応のための資金調達の拡大、早期警報システムによるすべての人々の保護、プラスチック汚染に関する法的拘束力のある協定の締結、生物多様性と海洋の保護などを含む。

2030 年以降の持続可能な開発の進め方について検討する。

国際の平和と安全

従来の領域でも**新たな領域**においても、紛争をよりよく防ぎ、管理し、解決できるよう、集団安全保障体制を刷新する。加盟国間の対立を未然に防ぐため、事務総長による周

旋を含め、予防外交と仲介のメカニズムをより全面的に活用する。

社会全体での予防の取り組みを国レベルで強化する。2030アジェンダの実施を通じてレジリエンス（強靭性）を高め、軍事費が持続可能な開発への投資を犠牲にしないようにする。国際金融機関が提供する資金を、不安定化の根本原因に対処する各国の取り組みと整合させる。

武力紛争における**文民の保護**を強化し、ジェンダーに基づく暴力や戦争の武器として使われる飢餓など、残虐な犯罪や侵害に対する説明責任を高める。飢餓の撲滅を含め、**人道支援**を拡大する。

核兵器のない世界の実現に目に見えるほどに近づく。無差別兵器、生物・化学兵器、小型武器などに関して、**軍縮と軍備管理**の取り組みを再活性化する。軍縮分野における国連の役割を再活性化し、「第4回軍縮特別総会」の開催に向けて前進する。自然および人為による生物学的脅威に対して協調した措置を講じる。

平和活動を現実的かつ責任ある形で活用する。進化するニーズに確実に応えられるようにするため、その将来のあり方を検討する。適切で予測可能、持続可能な資金調達を通じて、地域の平和執行を支援する。

女性と平和、安全に関するコミットメントを履行し、安全保障と気候変動が結びつく事柄に対処する措置を講じる。

テロリズムと、テロリズムを助長する暴力的過激主義のすべての原動力と実現要因に対処する、より効果的で予防的な**テロ対策**に取り組む。

新たな領域や技術の武器化を回避・抑制し、責任あるイノベーションを促進するために、以下を実現する。

- ・ 宇宙空間の軍事化を防ぐための条約
- ・ 人の制御や監視なしに作動する自律型致死兵器システム（LAWS）を禁止する、法的拘束力のある制度
- ・ 国家および非国家主体による公共サービスのインフラに対する悪意あるサイバー攻撃を防ぐための規範
- ・ 人工知能（AI）の軍事利用に関する規範およびルール
- ・ バイオテクノロジー、ナノテクノロジー、人間拡張テクノロジーに関する検討

科学・技術・イノベーション（STI）、そしてデジタル協力

技術に関する能力とアクセスにおける地域間や男女間の格差を縮小する。そのために、自主的な技術移転、能力開発、協力の強化など実施手段を増やす。SDGs 関連の研究やイノベーションのための資金提供を増やす。

政策決定における科学的知見の活用を拡大し、より多くの人々が科学・技術・イノベーションの恩恵を受けられるようにする。

SDGs の達成における開発途上国への支援を含め、国連の活動において科学・技術・イノベーションを活用するために国連の能力を強化する。

人権を保護し、誰一人取り残さない方法で、デジタル技術の機会を活用し、リスクを管理するための**グローバル・デジタル・コンパクト**（別途協議され、協定に付属予定）を採択する。そこでは、次の項目に焦点を当てる：(i) デジタル格差を解消し SDGs を加速させる。(ii) デジタル経済をすべての人々のためのものとし、インクルージョンを拡大し、そこからの恩恵も拡大する。(iii) 包摂的で開放的、安全で安心なデジタル空間を醸成する。(iv) データガバナンスを推進する。(v) 人類の利益のために、AI を含む新興技術のガバナンスを強化する。

若者および将来世代

世界的な意思決定への若者の参加を拡大・強化する。そのために、すべての国連政府間メカニズムおよびプロセスにおける若者の参画を約束し、意義ある若者の参画のための世界標準を示す。

若者がその権利と可能性を実現できる環境を国レベルで整備する。そのために、教育、雇用、身体的健康・メンタルヘルスの確保、国レベルでの若者協議機関の設立、若者主導の組織へのリソースの提供、立法・政策上の障壁の撤廃、そしてグローバルな若者への投資プラットフォームを通じたものを含め柔軟な資金提供を行う。

グローバル・レベルでの意思決定において、未来への影響を体系的に考慮する。「**将来世代に関する宣言**」（別途協議され、協定に付属予定）で謳われるコミットメントと実施手段を通じて、将来世代に対する予見可能な害を意識的に回避し、**将来世代の利益を守る**。

加盟国が将来世代をよりよく考慮することを支えるための、具体的なガバナンスを提案し、その運用体制を構築する。そして、国際レベルでの長期的で先見的なガバナンスを鼓舞する。

グローバル・ガバナンスの変革

マルチラテラリズム（多国間主義）を、効果的かつ公正で、代表性のある包摂的（政府間のものでありつつも多様な主体が貢献できる）で、すべての主体が協力できる、ネットワーク化されたものにする。

安全保障理事会の構成および作業方法を刷新し、より効果的かつ代表性のある信頼性の高いものとする。**総会**を再活性化し、平和と安全における役割を強化し、女性事務総長



の実現を目指す。経済社会理事会（ECOSOC）を強化し、「国連女性の地位委員会（CSW）」の再活性化に向けて前進する。**平和構築委員会**を強化し、国際金融機関を含めた他の主体とより効果的に連携できるようにする。

国連の人権の柱を強化し、より良い資金調達と協調を図る。国連を、イノベーション、データ、デジタルツール、先見性、（行動）科学を効果的に活用する組織へと更新し（「**国連 2.0**」）、国連開発システムを持続可能な資金で支える。国連と市民社会、民間セクター、地域機関、各国議会、地方・地域当局などのステークホルダーとの**パートナーシップ**を深化させる。

持続可能な開発の進捗を計測する上で、**国内総生産（GDP）を超えた**（人と地球、未来を考慮に入れた）尺度を開発するために、先進的に取り組む。

国際金融アーキテクチャを、すべての人々の利益となり、今日の経済的なニーズや政治的な現実を反映したものとするために、特に以下の施策をとる。

- ・ 国際金融機関における開発途上国の代表性の強化を通じて、国際的経済的意思決定への開発途上国の参加を強化する
- ・ 国際開発金融機関から、さらに資本を動員する
- ・ ソブリン債のアーキテクチャならびに「債務処理のための共通枠組み」の執行を見直す
- ・ 特別引出権（SDR）を活用した、より効果的な国際金融セーフティネットを構築する
- ・ あらゆる形態の脆弱性を考慮した、譲許的な気候変動・開発資金へのアクセスを実現する

宇宙空間活動の急速な進展に対応するために、宇宙の持続可能性の側面（探査、資源、交通、デブリ）に関する適切な**宇宙のガバナンス**を構築する。そのガバナンスを国連宇宙空間平和利用委員会（COPUOS）を通じて開発された新たな枠組みによって構築する。すべての人々の利益となるよう、宇宙空間を持続可能な形で利用するために、開発途上国や非国家主体との協力を拡大する。

大規模かつ深刻なグローバル・ショックに対する国際的な対応を改善する。そのために、システム全体に及ぶ期限付きの**緊急プラットフォーム**のためのプロトコルを開発する。特定の危機に際して発動し、首尾一貫した協調的で多次元的な対応を実現すると同時に、既存のマンデートや主権を妨げることのないようにする。

環境に関する国際的なガバナンスの仕組みを強化する。

サミットに向けた機運の醸成

未来サミット開催に先立って数日間行われる一連のキャンペーンやイベントは、サミットの包括的な目的と未来志向に沿ったイニシアチブについて、市民社会、民間セクター、他のステークホルダー、加盟国などの幅広い主体から補完的な取り組みを動員し、行動を促すことを目的としています。

サミット後のフォローアップ

「未来のための協定」の草案には、サミット以降の国連総会で進捗状況を確認するという約束が盛り込まれます。

* * * * *